

第2学年英語科学習指導案

平成18年9月12日(火)

3校時 2年C組教室

指導者 S・N

1、題材名 LESSON 5 Speech 'My Dream'

2、指導計画 (7時間扱い)

ねらい	主な学習活動	主な評価の観点	時間
不定詞の形・意味・用法を理解する。	不定詞の3つの用法を学習し、書かれた情報について大切な部分を読み取る。	不定詞の3つの用法を理解し、toの意味を使い分けられたか。(ワークシート記入)	1
不定詞の2つの用法を用いて、歌詞を書くことができる。	不定詞を含む歌詞の意味を考える。 不定詞の用法を使い分けて、歌詞を書くことができる。	不定詞を含む歌詞の意味を言うことができたか。 不定詞の形容詞的用法と名詞的用法を使い分けて正しい英文を書くことができたか。 (観察・ワークシート記入)	2 本時
本文の久美のスピーチを通して、人それぞれ異なる夢を持っていることを読み取ることができる。 不定詞の名詞的用法を用いて、自分のしたいことや理由を言うことができる。	Picture Cardを見ながら、「want+不定詞」を用いて表現活動をする。 本文を聞いたり、読んだりして、内容を理解する。 どんな職業につきたいかを、友達にインタビューする。	本文を、ポイントを押さえて読み取ることができたか。 自分がしてみたいことを書くことができたか。 (ワークシート記入状況、発言)	3
久美のスピーチを通して、久美が樹木医になりたい理由を2つ読み取ることができる。 行動の目的を含んだ英文を書き表すことができる。	Picture Cardを見ながら、不定詞を用いて公園に行った目的を言ったり書いたりする。 本文を聞いたり、読んだりして、内容を理解する。 週末、どこへ、何をしに行くかという予定を発表し合う。	本文を、ポイントを押さえて読み取ることができたか。 行動の目的を表す英文を正しい語順で発表することができたか。 (ワークシート記入状況、発表)	4
久美のスピーチを通して、久美が樹木医になりたい3つ目の理由と、その決意を読み取ることができる。 不定詞を含む説明を聞きとることができる。	本文を聞いたり、読んだりして、ポイントを押さえた内容理解をする。 クイズを聞いて、何の説明をしているか当てる。	本文を、ポイントを押さえて読み取ることができたか。 不定詞を含む英文を聞いて、何の説明をしているのか正しく理解することができた(ワークシート記入状況、発言)	5
自分の将来の夢を語るスピーチ原稿を、論理的な文構成を意識して書くことができる。	将来つきたい仕事についてのスピーチ原稿を書く。	不定詞の用法を正しく使い分けて、英作文することができたか。 (観察・ワークシート記入)	6
“My Dream”というタイトルで、聞き手に自分の考えが伝わるように、プレゼンテーションすることができる。	将来つきたい仕事についてのスピーチ発表会をする。	“My Dream”というタイトルで、聞き手に自分の考えが伝わるように、プレゼンテーションすることができたか。 (発表の観察)	7

3、指導にあたって

本単元の Target sentence は、不定詞である。名詞的・副詞的・形容詞的用法が、次々に本文に登場する。生徒が、語順や用法に混乱を感じる文法の1つである。その導入として、Queen の “ I Was Born To Love You ” という曲を活用する。この曲には、3つの用法のうち、2つの用法が使われていて、用法確認の導入に適する“もの”であると考えた。歌のさびにある ‘ I was born to love you ’ や ‘ I was born to take care of you ’ を使って、副詞的用法「～するために」を、‘ I want to (wanna) love you ’ というフレーズで、名詞的用法「～すること」を確認する。また、題材は、由美の将来になりたい職業がスピーチ形式になっている。その理由が論理的に展開されており、ある程度まとまったスピーチの原稿を論理的構成に基づいて作ることを学ぶのに適した題材である。本単元のまとめの活動では、導入時で学習したことを土台にし、生徒自身に、“ My Dream ” というタイトルで、スピーチ原稿作りに取り組み発表させていきたい。とかく、指導者対生徒になりがちな対話練習やスピーチ活動を、個と個とつなぐ生徒対生徒の練習にするために、グループワークによる対話練習とそれに基づくスピーチ活動を各授業の導入時に取り入れることにより、単元終末のスピーチ発表会に抵抗なく入れるようにしたい。ひいては実践的コミュニケーション能力を育成することにもつながっていくものと思われる。

本学級の生徒は、課題に対して意欲的に取り組むことのできる集団である。しかし、個々を見ると、「英語が何を言っているかわからない」「単語が覚えられない」などのつまずきを感じている。英語学習の目的を見ると、上記の生徒たちは、「英語が授業にあるから」「高校に入るため」と目的付けている。英語嫌いは、現在何のために学習しているかという一人一人の目的意識とも深く関わっていると考えられる。そのため、言語材料の導入時では、生徒を引き付ける教科書以外の「もの」を積極的に活用していく。更に、音読練習ではペアや小グループ単位の活動を、その効果を考えながら授業に取り入れていく。

本時では、『自分たちの思いを歌詞にしよう』という課題を設定し、さびの部分の ‘ I was born to ~ ’ のフレーズを使って、自分たちは何をするために生まれたのか、大好きなことはなにか、を見つめさせ表現させる。2年時の自己英作文では、‘ ふたこと自己表現 ’ を意識付けしており、本時でのもう一文は、既習である ‘ Because I like to ~ ’ 「～することが好きだからです」や ‘ Because I want to ~ ’ 「～したいからです」を加えさせる。自作の歌詞を、グループで紹介しあい、曲にうまく乗るようアレンジし、一つの歌詞を完成させるよう仕向けたい。授業の終末で、歌詞の発表会をし、表現の共有化を目指したい。その際、英文ではなかなか表現できなかった想いを、日本語でコメントできるようにしたい。

4、本時の流れ

